

きこえの教室 自立活動学習指導案

日 時 平成20年10月10日(金) 5校時
児 童 1名
指導者 ○ ○ ○ ○

1 単元名 きいて、かいて、あそぼう

2 単元について

(1) 児童について 略

(2) 単元について

本単元は、「言語の形成と活用」をねらいとする単元として設定した。言語の形成を図るためには、「語彙力を育てること」や「文法に即した表現を促すこと」が大切である。そこで、本単元では、語彙の習得や文法体系の習得を目指す活動として「きいて、かいて、あそぼう」を取り上げた。教材文を語句のまとまりに気を付けて音読したり聴写したりする活動を通して、身近にある合図の知らせている内容をつかませ、主述のそろった基本的な文を書けるようにする。その中で、教師の問いかけをきいてじっくりと考えたり、自分の考えを話したりする思考力も育てていきたい。

(3) 指導にあたって

児童が関心を持って、学習に取り組めるよう身近にある題材を取り上げることとした。

「きいて、かいて、あそぼう」では、まとまりに気を付けて音読したり聴写したりする。その際、句読点を意識させることで、主語と述語のそろった文を話したり、書いたりすることの手助けとしたい。また、教材文に出てくる一つ一つのことばに着目し、ことばの持つイメージを他のことばで言い表したり、児童の経験や知識と合わせたりしながら、ことばの理解を深めていきたい。

さらに、自分の身近な生活でも、いろいろな合図が使われていることに気づかせ、見つけた合図は、絵カード等を手がかりとしてことばや文で表す活動に意欲を持って、取り組めるようにしたい。最後に、学習のまとめとして、合図カルタ取りを行うことで、「合図」の理解とさらに身近な生活への積極的な関わりを図りたいと考える。

3 本単元に関わる児童の実態及び単元の見目標

(1) 児童の実態

児童	きこえとことばの状況	コミュニケーション	支 援
A	<ul style="list-style-type: none"> ・静かな環境の中では話の大体をきき取ることができるが、理解は十分ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から友だちに話しかけたり、質問に答えたりすることができる。 ・話の内容を大体理解できるが、相手の話を集中してきく力はまだ育っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話をする人の方を向いて最後まで話をきくことができたら賞賛する。 ・音読したり聴写したりする活動を通して、主述がそろった文を強化する。 ・教師の問いかけをきいて答える活動を通して、一つ一つのことばに着目できるよう促す。 ・児童の経験や知識と照応させながら、ことばの持つイメージを他のことばで考える活動を通して語彙の拡充を図る。

(2) 単元の見目標

教材文を正しく聴写して、合図カルタ取りをすることができる。

4 指導計画（全4時間）

段 階	主 な 学 習 活 動		言語事項等
内 容 を き い て、正 確 に 書 く。	1	<u>きいて、かこう</u> <ul style="list-style-type: none"> ・題「合図」の意味を考える。 ・教材文を音読する。 ・教材文から分かったことや考えたことを話す。 ・中心となる文を聴写する。 ・音を使った合図を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合図 ・時こく ・じゅぎょう ・チャイム ・よびかける
	2	<u>きいて、かこう</u> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文を音読する。 ・教材文から分かったことや考えたことを話す。 ・中心となる文を聴写する。 ・色を使った合図を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交さ点 ・やくそく ・交通せいり ・せいり
	3	<u>きいて、かこう</u> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文を音読する。 ・教材文から分かったことや考えたことを話す。 ・生活の中で、他の合図を探す。 ・見つけた合図を文に表す。 ・書いた合図カルタをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・りょう ・それぞれ

作った合図カルタで遊ぶ。	4	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">かいて、あそぼう</div> <ul style="list-style-type: none"> ・聴写した文を音読する。 ・合図カルタを作る。 ・聴写した文と絵カードを使って、カルタ取りをする。 ・教師と交代で行う。 	
--------------	---	--	--

5 本時の指導

(1) 目標 身近な生活の中から使われている合図を探し、文に表すことができる。

(2) 展開

段階	主な学習活動	支援の手立て	準備物等
導入 (10分)	1 あいさつをする。 2 教材文を音読し、本時の学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">合図を見つけ、よくきいて、カルタの文を書こう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「これから…始めます。」の部分に気を付けるよう声かけをする。 ・口の開け方に気をつけて音読するよう促す。 ・「このほか」「りよう」「それぞれ」のことばに着目させる。 ・ことばの意味を他のことばで言い表すことにより、意味理解を図りながら、本時への意識を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵カード ・教材文
展開 (30分)	3 いろいろな合図を探し、文に表す。 <ul style="list-style-type: none"> ・他にどんな合図があるか、考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・聴写して、カードに書く。 4 合図カルタをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・会話を通して、身近に使われている合図を見つられるような問いかけを工夫する。 ・どんなところで(どんなとき)、どんな合図が使われているのか、考えさせる。 ・見つけた合図は、どんなことを知らせているのか、確かめる。 ・「__は、～ます。」の文型に当てはめ、文の内容を考えながら、聴写させる。 ・文を作りたいカードを選ばせ、自力でも文が作れるよう内容とことばを確認しながら文を作らせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・作った聴写カードを読み札として、最後まではっきり音読して、絵カードを取るようにはさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聴写カード ・絵カード
終結 (5分)	5 感想を発表する。 6 次時の予告を知る。 7 あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・頑張ったことなど発表できたら賞賛する。 ・「これで…終わります。」の部分に気を付けるよう声かけをする。 	

(3) 評価

身近な生活の中から使われている合図を探し、文に表すことができたか。